

未来の図書館をつくるワークショップ 実施報告書

－読み連と考える児童サービスの在り方－

- 1 日 時：** 令和5年6月27日（火）10：00～12：15（9：30 受付開始）
- 2 開催場所：** 前橋市立図書館 地下講堂
- 3 参加人数：** 20人（前橋市読み聞かせグループ連絡協議会）
- 4 実施方法：** 来場参加者20名を3人4グループ、4人2グループに分け、KJ法（付せんにアイデアを書いて共有）を用いてグループワークを実施。
- 5 目的：** 前橋こども図書館の新本館への移転統合に際して、子どもたちのスペースをどう扱うかについて、基本構想で掲げたビジョンも含め示す。その上で、グループワークを通じて前橋市読み聞かせグループ連絡協議会の意見を聞き、より良い図書館にするために必要な機能を明らかにする。

6 当日スケジュール

●開会式

開会（10分） 10：00～10：10	あいさつ、本日のスケジュール共有、 参加上の諸注意、ワークショップの目的
------------------------	---

●ワークショップ

アイスブレイク （10分） 10:10～10:20	1. 自己紹介 ・グループ内で自己紹介
導入 （15分） 10：20～10：35	2. 新本館の基本構想・ビジョンの理解：こども図書館統合について ・現段階での図書館の基本構想の説明 ・こども図書館統合についての説明
グループワーク1 （60分） 10:35～11:35	3. 親子が図書館で一緒に楽しむためにはどんな図書館であるべきか ・親子が図書館で一日過ごせるような図書館に関する意見を付せんに書き出し、出た意見をグループごとに発表する
休憩（5分）	
グループワーク2 （35分） 11:40～12:15	4. 読み聞かせ等の活動を拡充させていくためにはどうするべきか ・読み聞かせ活動等の拡充に関する意見を付せんに書き出し、出た意見をグループごとに発表する
まとめ（5分） 12:15～12:20	振り返り、解散

7 ワークショップ内容結果

はじめに、図書館より、図書館新本館基本構想の概要と、現本館と前橋こども図書館が統合することを説明した。その後のグループワークでは、2つのテーマをもとに個人で意見を出した後、グループで共有して議論を行い、最終的に発表をとおして全体での意見共有を行った。

8 所感

図書館による新本館基本構想の説明では、参加者がメモを取りながら真剣に聞く様子が見られた。その後のグループワークでは、議論が途切れることがなく、各々自分の意見を積極的に発言しつつ、他者の意見も聞くことで新たなアイデアが生まれていた。全体発表の際には、全員が発表者の方を向いて真剣に発表を聞いており、意見に対して拍手がおこった場面もあった。

ワーク1では、新本館が親子にとって利用しやすい図書館にするために、施設面やサービス面を問わず、多様で自由な意見を聞けるようテーマを設定した。その結果、予定よりも時間が延びるほど多くの意見が集まり、集まった意見のグループ分けも含め、議論が活発に行われた。ワーク1で実際に多く見られた意見は以下のとおりである。

ワーク1 親子が図書館で一緒に楽しむためにはどんな図書館であるべきか

- ・「明るい図書館であってほしい」
- ・「カフェなど軽食が摂れる場所がほしい」
- ・「くつをぬげたり寝転がれたりなど、くつろげる空間が欲しい」

ワーク2では、読み聞かせ活動を積極的に行っている参加者に対し、新本館でさらに読み聞かせ活動を発展させていくために、できることやしたいことを聞くことができるテーマ設定とした。個人だとなかなかイメージがわきづらいように思われたが、グループで意見を共有し話し合うことで、どのグループも、多様な観点から読み聞かせを拡充させるための意見が集まっていたように思われる。ワーク2で実際に多く見られた意見は以下のとおりである。

ワーク2 読み聞かせ等の活動を拡充させていくためにはどうすべきか

- ・「活動場所を図書館以外にも広げていく」
- ・「読み聞かせ活動の広報に力をいれていく」
- ・「ブックスタート事業や子育て支援講座とも連携する」

ワークショップ全体をとおして、明るく賑やかな雰囲気で行われたため、意見が出しやすかったように思われる。また、図書館職員だけでなく、設計関係者や教育施設課及び市街地整備課にも見学していただくことで、参加者が図書館に対しどんな思いを持っているのかを、関係者が同じ温度感で感じる事ができたのが非常に有意義だった。さらに、参加者にとっても、関係者が集まっていたことで、自分の出した意見をしっかりと聞いてもらえたという満足感を得ていただくことができたと思う。

9 各ワークでの意見まとめ

(貼られた付せん内容をそのまま転記、グループ分けも参加者が行ったものを参照)

(1) ワーク1：親子が図書館で一緒に楽しむためにはどんな図書館であるべきか

A グループ

【環境（建物）】

- ・中心に本棚がない
- ・ファミリーカフェ
- ・フラットで明るい雰囲気
- ・くつをぬいでくつろげるスペースがある
- ・明るい ガラス張りとか
- ・どこで座ってどこで読んでもいいという空間である
- ・祭時の（季節の飾りつけをする）現在の倉庫は狭いので広い部屋をお願いします 出し入れがとても大事です
- ・お話イベント専用の会場
- ・駐車場が使いやすい
- ・授乳室の整備
- ・赤ちゃんと児童（幼児）にわけての読み聞かせをする 明るい部屋がよい

【環境（部屋）】

- ・簡単な食事ができる
- ・おもちゃがある！！安全で大きめ
- ・歳時ごとの飾りをして季節感を出す
- ・ワイファイ環境が整っている
- ・部屋にしっかりと表示をする（授乳室がわからない人がいる）現在
- ・おやつや昼ご飯を食べるスペース
- ・子どもやママが軽食を食べられるスペース ところで絵本とかも読んだりできる
- ・サークルがある
- ・子どもと一緒に本を読めるスペース
- ・プレイルームで遊べる

【イベント】

- ・いつ行っても楽しいイベント
- ・戦争のお話をしてほしい
- ・定期的なおたのしみイベント
- ・物作りをするワークショップ
- ・映像を流す 子ども用のアニメや映画

【サービス】

- ・子どもたちがワイワイ絵本を読んだり、おしゃべりをしながら本を読める
- ・子どもを囲うのではなく、大人と子どもが自然に交流
- ・本をよく知っている専門的な職員
- ・ママが近くにいなくても子供たちに声を掛けてくれる人がいる ママがそれを OK とできる
- ・子供を専門にみてくれる

B グループ

【スタッフ】

- ・司書のコト→正規職員へ
- ・司書さんが活躍できる（する）図書館
- ・学芸員さんの存在 大事な？

【サービス面】

- ・自由に過ごしながらの読み聞かせ
- ・ようじでも手にとれるたな 床をはいはいできる
- ・おはなし会などのイベント専用スペース（部屋）ほしい
- ・子供図書館だより 広い読み聞かせスペース
- ・イベントの内容が豊富
- ・おはなしをしても気にならない場所
- ・ねころんで話せる場所 子どものプレイルームがほしい
- ・しっかりとした形の読み聞かせ
- ・大型本（子どもの絵本）、紙芝居、図鑑、楽譜のついた雑誌を借りられる

【施設面】

- ・食事が摂れる場が欲しい（お弁当、おやつ）
- ・駐車スペース（らせん状ではなく）

- ・ 駐車しやすい駐車場
- ・ 荒井良二さんの絵のかかれてあるかべがみ利用してほしい
- ・ カフェ欲しい
- ・ 授乳やおむつ交換に必要なスペース
- ・ 子どもとゆっくりすわれるスペース
- ・ 子どもが靴をぬいでねころんで本をよめるスペース
- ・ 緑が多い図書館 いこいの場としたい
- ・ ガラス張りはNG
- ・ 男子トイレにもおむつ交換台
- ・ 木材を使う時は木の特性を考えて

C グループ

【がんばれ図書館！】

- ・ 駐車場がとめやすい 小さい子をつれてきやすい 安全
- ・ 図書館の回りを窓を広く取り入れ、その周りに緑の木々、植物を植え身にも心にも気持ちよく感じる空間を演出する
- ・ 本棚の高さは小さい子供の目に届くよう低くする
- ・ 買い物ついでに図書館によってみる
- ・ また行きたいと思える図書館
- ・ 長い時間いられる場所
- ・ 本県の木の素材を使ったものを多く使用する
- ・ 郷土愛を育てたい
- ・ ちょっと軽食たべたい コーヒー飲みたい
- ・ 広い空間と小さい子供でも座れるイス
- ・ 机があるスペース
- ・ たくさんの絵本をあつかってほしい（取りそろえてほしい）
- ・ 司書さん、職員さん話しかけやすいふんいきがあるといいな
- ・ どの人が司書さんかわからない わかるといいな

【イベント】

- ・ 子どものビブリオバトルがあってもいい
- ・ 楽しいふんいき ディスプレーとか
- ・ ふせんにかいてはるとか すみっこサロンを拡大 簡単におすすめの本を紹介とか
- ・ 本読んで楽しかった、好きとか 気軽に付せんをはるコーナー
- ・ イベントがたくさんあるとよい
- ・ イベントのお知らせをしっかりと
- ・ イベントのおしらせは早くしてわかりやすい
- ・ 工作とかつくることしたい
- ・ いろいろな体験ができるといい
- ・ 親子で体験できる工作→図書館員さんと一緒にやれたらいいな
- ・ 絵本と関連づけた工作作り
- ・ テーマにそって本をさがすゲームとか

【スペース】

- ・ ただ自由にウロウロしたい
- ・ くつをぬいでゴロゴロしたい
- ・ オープスペースとか しきりとはなしで
- ・ 親子でゆったりききたい よんでほしい「よみきかせ」
- ・ 親子で一緒に読む 声を出してよい
- ・ 大人の空間 静かに読みたい人 勉強したい人
- ・ 親子で座って本よめるところほしい パパよんだり
- ・ 楽しい所、おもしろい所をはなしあう

D グループ

【赤ちゃん】

- ・ 赤ちゃんぐずる 赤ちゃんルーム
- ・ 赤ちゃん和妈妈が気軽に立ち寄れるような図書館
- ・ プレイスペース 本も運動も好きな子供たちが両方満たされる
- ・ 子どもが遊べるスペースをつくる
- ・ 身軽になれるよう、荷物ロッカールームの充実
- ・ 授乳ルーム、おゆ、おむつ

【対話】

- ・ 赤ちゃんから中高まで対応できるような司書をそなえる
- ・ 本を必要とすると同時に気軽にお話相手をしてもらえる 心の悩みを話せる相手

- ・子育て支援センター保育士、保健師
- ・見守り隊 おせっかい 井戸端会議
- ・はなせる きいてもらえる 安心できる

【スペース構造】

- ・子どもエリアを中央に～その周りに大人用スペース
- ・高低差により中央スペースが見えるように
- ・本棚とは別に読むスペース 自由 ねっころがり
- ・同一フロアに統合
- ・寝っころがれるスペース+低い机、テーブル
- ・子供達のイマジネーション広がる空間 図書スペースに向かう道のりに星空のトンネル 大きい恐竜の絵など
- ・本を読むための秘密基地 ツリーハウスや隠れ家（冒険）
- ・中庭でのおはなし会 季節かざり 七夕
- ・駐車スペースが充実している図書館
- ・学習スペース 防音 気配を感じられる
- ・P 駐車場の区分 わかりやすい表示

【体験】

- ・親子で工作（本、物語関連） 居場所づくり
- ・本 物語の中の料理教室
- ・新聞紙、牛乳パック、廃品で自由に自分で、最後片付けまであそびの1つ
- ・作家さんとのふれあい（本を好きになってもらうには）

【促進】

- ・グッズ
- ・スタンプラリー 他の施設
- ・アドバイス 本について相談できる

E グループ

<子育てするなら前橋市！>

<新 前橋市立図書館 こんな図書館つくってほしい>

【サービス】

- ・音楽オルゴールも可の図書館
- ・しずかに過ごしたい方との住み分け
- ・静かすぎる図書館 子どもと本を選ぶときに声を出しづらい 音楽などをかける
- ・読み連オススメコーナーつくってほしい
- ・原画の展示
- ・さくたろうさん以外の前橋出身作家のコーナー
- ・個人のハコ図書館（スペース）売り出す
- ・大人 にわ こども（重要）
- ・本好きな親から本好きな子どもとなる 本好きな親がまた来たいと思う図書館
- ・理想 子どもを預けられる たとえ10分でも（重要！！）
- ・柔軟な対応
- ・毎日同じ時間何かしらのWS、読みきかせ
- ・背表紙に「〇〇にオススメ」のマークをつけてほしい
- ・展示方法 面出しでわかりやすく見やすくして欲しい
- ・0、1、2才の絵本コーナーがある
- ・コラボカフェ まんが飯みたいな
- ・ねころんで読んでもらえる所がある
- ・（軽食）子どもがぐずった時にすぐ食べられるスペース 図書館のじゃまにならないように
- ・音楽が流れている

【ハード面】

- ・あそび場スペースとの連携
- ・本棚は低く
- ・本が選びやすくみつけやすい
- ・青空 読み聞かせ（絵）
- ・家のように寝ころべる自由なスペース
- ・明るい カラフル
- ・子どもメインの部分は少しか音が漏れない工夫→気兼ねなく選べる
- ・平屋の広～い建物
- ・カラフルな色づかい
- ・階段でなくスロープ
- ・青空読み聞かせ！！自然を感じられる
- ・中庭がある（外に出られる）
- ・駐車場と直結
- ・ピクニックスペース
- ・子どもって狭いところが好き テントみたいなものもある

- ・天井投影！！
- ・ちょっとしたロッカー（荷物おき）
- ・明るい
- 【安心感（子どもも親も）】
- ・かくれあいてむ！があり探してあそべる
- ・授乳やおむつ交換近い
- ・遊び場と図書館が同じところにある
- ・今のこども図書館の良いところを残してほしい！！
- ・イベントの様子が見える
- ・ここにすわってよむ（イラスト付き）
- ・イベントスペースがある
- ・解放的
- 【大人】
- ・ゆったりすわれるこちよいイス

Fグループ

【施設】

- ・外の空気を吸えるようなテラス、または遊具 えほん関連のおもちゃ
- ・外の空気が感じられるテラス
- ・子ども図書館といったかするためにこども図書館をなくすのは反対
- ・いまのこども図書館にあるゆったりとした空気をなくさないでほしい
- ・こじんまりした劇場（おはなし会や人形劇）
- ・プレイルームが併設
- ・プレイルームにきて、子ども図書館に行ける
- ・立体ではなく平地の駐車場 近場で
- ・貸出不可の本の閲覧コーナーがあると嬉しい
- ・親子でヘッドフォンをしてDVDを見たりできるコーナー（昔あったらしい）
- ・お母さんもこどももゆっくりできる
- ・ギャラリーがあって絵本の原画展などを開催

【ゆったりできる場所】

- ・カフェの中にキッズコーナー
- ・カフェもいいけどお金がかからない売店があるといい
- ・子連れOKのカフェ そこで絵本が読めると嬉しい
- ・あかるいあたたかい空間

【子どもにも優しいスペース】

- ・小さい子がくつをぬいでくつろげる様なスペース
- ・寝ころんで本を読めるスペース
- ・時間を気にせずゆっくり過ごせるところにでも座ってぱらぱら絵本をみることができる
- ・こどもが座れる自由なデザインのイス ヨギボーとか（机、イスというのではなく）
- ・親が子どもに読み聞かせをしてあげられる空間が欲しい

【サービス】

- ・カゴやカート だっこのまま本を持てる工夫
- ・月ごとに子どもが何か作れるワークショップ（子どもが行きたくなるような）
- ・子どもが本棚から本をとりだしやすい本棚で 小さい子どもが出せない工夫
- ・年齢別で探せる
- ・子どもの本についてのレファレンスサービス
- ・子どもが本をゲーム感覚でさがせる工夫
- ・こども図書館での今まで通りのよみきかせなどの行事、イベントしてもらいたい

【パパママのデビュー】

- ・プレママプレパパたちへのおすすめ絵本コーナー
- ・赤ちゃんが楽しめる空間コーナー
- ・ことばのシャワーをいっぱいあびられる空間
- ・広いトイレ、授乳室

【本館】

- ・なつかしい思い出があるので何か面影が残っていると嬉しい

(2) ワーク 2 : 読み聞かせの活動を拡充させていくためにはどうするべきか

A グループ

【ママより】

- ・大人と一緒にいなくても OK な読み聞かせにする。もちろん一緒でも OK

【またないよ こっちから行く！】

- ・各公立小学校、幼稚園によみきかせ活動をすすめる
- ・出張おはなし会
- ・日常生活の中にふらっとよれる読みきかせのイベントを組み込む（買い物や公園とかで路上パフォーマンス的に）
- ・市が必修として読みきかせを推進

【お金大事】

- ・読み連の予算を 10 倍にする
- ・予算を多くする（ボランティア）

【講座】司書さんを増やせ！！読み手を増やす

- ・読み聞かせ連続講座 講師をたてて
- ・プレママ、プレパパ向けのおはなし会、絵本講座

【告知！！】積極的に配る！！インスタとか SNS しましょう 市が

- ・活動を知らせる方法を考える

【イベントで呼ぶ】

- ・大型絵本、紙芝居なども充実させる
- ・原画展示

【個人的な】

- ・よみきかせをばんばん委託する

B グループ

【サービス面】

- ・広場で遊んでやれるような環境（木陰などで）
- ・怖いお話等ジャンルを超えたおはなしをいろいろ考える
- ・フラットな床でくつろげながら聞けるスペース 椅子も少しあっても良いかな
- ・どこでも気軽に読める場所
- ・外にでても読んで聞いてもらう場所
- ・公園などを利用した出張お話し会

【学校・親子】

- ・学校については先生側の意識改革？
- ・こどもだけでなく大人向けのおはなし会
- ・〇ヶ月診断を利用してよみきかせのことをアピール
- ・過程で親子の読み聞かせの推進に力を注ぐ

【子ども図書館への感謝】

- ・子ども図書館職員の協力のバックアップがありがたいです。引き続き協力を願います。
- ・職員が時々寄りそってくれる

【地域活動】

- ・地域の活動 団体の存続をアピール
- ・地域の活動団体のアピール
- ・地域でのブックスタートの充実

- ・赤ちゃんの頃から本に親しんでもらうブックスタート
- ・地区の読み聞かせの充実 分館との活動充実 ・とにかく情報発信

C グループ

【図書館で】

- ・小さい子の読み聞かせ 図書館いったらきける 定期的だけど何曜にいてもやっている
- ・親子で楽しい時間を共有 ・大人のよみきかせ会も ろうどくとか 絵本
- ・読み聞かせの皆さんによる読み聞かせがあると図書館員のスキルアップにつながる！
- ・読み連講座 他の方も是非

【子育てイベントの中で】

- ・市の講座の中で ・子育て支援講座やイベントに組み入れてほしい
- ・検診等乳児を利用して絵本を読む場を提供する ・絵本よみきかせの機会をくみいれていく

【図書館の外で】

- ・学校のよみきかせの時間 仲の良い仲間と聞ける 共有できる
- ・小中学校の読み聞かせ ・今保育所でやっています 広がるといいですね
- ・読み聞かせをしていることをアピールする（知ってもらう）

D グループ

【家庭】

- ・おすすめコーナー みんなの声のメモ貼る
- ・読み聞かせに参加して下さった親子さんにいつも寄り添うお話し会を目ざしている

【グループ】

- ・動画をとって欲しい 広報 ・作家さんのおはなし
- ・作家さん・テーマにそった本の貸し出し 充実した冊数を学校・分館に貸し出す
- ・読み聞かせグループの交流 ・出張おはなし会
- ・読み聞かせウィークイベント 駅前など ・図書館内にカフェや軽食をとれるスペース
- ・本屋さんがある（佐賀の武雄図書館の TSUTAYA みたいな）

【フリー】

- ・子どものけいしょくスペース 絵、手紙自由に ・赤ちゃんコーナー 自由
- ・自由な読み聞かせ

E グループ

【前橋市】

- ・前橋市の3大祭り 七夕まつり・前橋まつり・初市まつりの他に前橋ブックフェスを足して4大祭りにする
- ・ブックフェスを1回で終わらせない ・広報に本の紹介 大人、子ども、赤ちゃん
- ・たこさんをぐんまちゃんと同じくらいの扱いにしたい！
- ・前橋市立図書館の SNS に今日の一冊を紹介
- ・高校生、大学生、大人、ビブリオバトル、群馬テレビで生中継
- ・アピールをする ・年代別読み聞かせ本の紹介（紙ではない）スマホで見られる物

- ・各グループよみきかせをもっとアピール 協力し合う
- ・本や絵本通り？街中に歩きながら文学にふれられる
- ・大型本を手にとってもっと見たい
- ・市のバックアップ
- ・本の購入？

【図書館】

- ・ボランティアの育成、誘う（研修）
- ・ボランティアおすすめ本 学校新聞で紹介
- ・よみれんの連携交換留学
- ・テーマや作者にしぼった「どんだけ〇〇！！」読みきかせ大会
- ・先生が読むとより児童はよろこぶ
- ・まえばし CITY エフエムで本の紹介
- ・大人のよみきかせ会
- ・大人の読みきかせ
- ・主体的 だれでも読み手を楽しもう
- ・集う よみれんの仲間を増やす
- ・詩を書く会、よむ会

【学校・家庭】

- ・良い本の紹介 文だけでなく写真メインで見やすく
- ・赤ちゃん訪問のときにブックスタート案内とオススメ本リストを配布する
- ・携帯できる本をプレゼント
- ・学校での読み聞かせ
- ・生活の身近な所に本を置く
- ・こどもの興味あるものを止めない、共感
- ・スマホに負けない本の良さを伝える
- ・大人が本の知識を知る機会を作る
- ・季節のオススメリストを出してほしい

Fグループ

【場所】

- ・図書館の司書さん達が中心になって読み聞かせのイベントを開催する
- ・街かどベンチコーナーなどが読み聞かせの場に
- ・ご近所で、地域で→顔も知れる
- ・児童館で読みきかせ
- ・クラフト展での読みきかせ（ハンドメイド etc）

【オンライン】

- ・オンラインでの読み聞かせ会
- ・図書館公式ユーチューブチャンネルの活用
- ・絵本から探せる 本から入れる

【 】

- ・中学生・高校生に向けた読み聞かせ講座

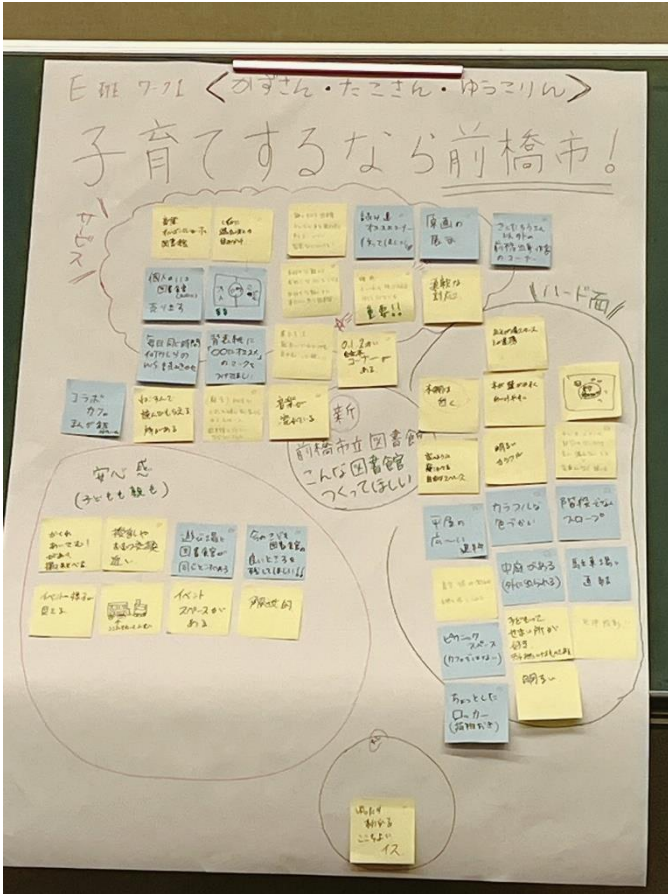
【周知】

- ・サークルを新人ママが知るきっかけづくり
- ・絵本の魅力を広く伝えたい→読み聞かせの機会を増やす
- ・いろいろなところで周知する
- ・おはなし会に来てもらって親子で楽しかったという経験をしてもらう

【ブックスタート】

- ・ブックスタートについての周知
- ・ブックスタート 本をもらうだけではない
- ・0～1才までのホントのふれあいの時間を大切に
- ・ブックスタートのおはなし会 地域にはたくさん来てくれるが（にぎやか・楽しい・うれしい）
ブックスタート対象の方は少ない

10 当日の様子



書き出したアイデア



グループワークの様子



発表の様子